



参天製薬株式会社 2006年度 決算説明会

2006年度 通期連結業績概要
2007年度 通期連結業績予想

2007年5月9日

執行役員 計画・統制本部長
納塚善宏

(見通しに関する注意事項)

この資料は参天製薬の戦略、計画、業績などに関する将来の見通しを含んでいます。この見通しは、現在入手可能な情報をもとにした当社経営者の判断に基づいています。従って実際の業績は、事業環境の変化、新薬の承認時期、為替レートの変動、行政動向など様々な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



2006年度 通期連結業績概要



連結業績概要

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度		
		実績	増減額	増減率
売上高	983	1,004	21	2.1%
営業利益	209	204	▲ 5	▲ 2.8%
経常利益	215	208	▲ 7	▲ 3.1%
当期純利益	130	131	1	1.0%



連結業績通期予想：2006年11月決算発表時(11/1)予想との差異

(単位：億円)

	2006年度			
	2006年11月 決算時予想	実績	増減額	増減率
売上高	1,005	1,004	▲ 1	▲ 0.0%
営業利益	207	204	▲ 3	▲ 1.4%
経常利益	209	208	▲ 1	▲ 0.3%
当期純利益	132	131	▲ 1	▲ 0.4%



販売部門別 売上高 / 海外売上高

●販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2006年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	807.4	0.5%	111.0	11.7%	918.4	1.8%
眼科薬	712.7	0.1%	108.8	12.1%	821.5	1.5%
抗リウマチ薬	92.0	3.8%	1.7	▲ 0.9%	93.7	3.7%
その他医薬品	2.6	17.6%	0.5	▲ 14.7%	3.1	10.4%
一般用医薬品	52.8	1.1%	0.2	3.9%	53.0	1.1%
医療機器	5.1	▲ 16.6%	0.2	8.7%	5.3	▲ 15.9%
その他	6.0	▲ 3.8%	21.8	34.0%	27.9	23.5%
合計	871.5	0.4%	133.3	14.8%	1,004.8	2.1%

●海外売上高

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度		
		実績	増減額	増減率
欧州	60.8	69.1	8.3	13.6%
北米	19.1	21.2	2.1	11.2%
その他	36.0	42.8	6.8	18.8%
合計	116.1	133.3	17.2	14.8%



連結売上高：増減要因

2005年度
実績売上高
983.9億円

+ 20.9億円

2006年度
実績売上高
1,004.8億円

国内 + 3.7億円

[増収要因]

- + 医療用眼科薬 + 0.6億円
- + 抗リウマチ + 3.4億円
- + 一般用医薬品 + 0.6億円

[減収要因]

- + 医療機器 ▲ 1.0億円

海外 + 17.2億円

[増収要因]

- + 欧州 + 8.3億円
- + 北米 + 2.1億円
- + アジア他 + 6.8億円
 - + うち、中国 + 2.0億円
 - + うち、韓国 + 4.0億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 7.6億円
- + 角膜 + 5.3億円
- + 緑内障 ▲ 2.3億円
- + アレルギー + 3.3億円
- + パピロックミニ + 1.0億円
- + オペガン類 + 0.8億円
- + その他 + 0.1億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 9.3億円
 - + うち、ドイツ + 2.0億円
 - + うち、スウェーデン + 1.7億円
 - + うち、フィンランド + 1.2億円
 - + うち、ポーランド + 0.5億円
- + 受託製造 他 ▲ 1.0億円

北米

- + 医療用眼科薬 ▲ 4.5億円
- + 受託製造 他 + 6.6億円



損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度		主な増減要因
		実績	増減	
売上高	983	1,004	21	
売上原価	345	354	9	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価改定の影響 (+0.6ppt) ・コスト合理化 (▲0.3ppt) ・欧州子会社等 (▲0.1ppt)
(対売上高比率)	35.1%	35.3%	0.2 ppt	
販売費・一般管理費	428	445	17	
(対売上高比率)	43.6%	44.4%	0.8 ppt	
研究開発費を除く販管費	288	309	21	<ul style="list-style-type: none"> ・国内 販売費増 (+10億円) ・欧州 販売費増 (+5億円) ・アジア 販売費増 (+4億円)
(対売上高比率)	29.4%	30.8%	1.4 ppt	
研究開発費	139	136	▲ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障関連 (▲12億円) ・角膜関連 (+6億円) ・網膜関連 (+1億円)
(対売上高比率)	14.2%	13.6%	▲ 0.6 ppt	
営業利益	209	204	▲ 5	
(対売上高比率)	21.3%	20.3%	▲ 1.0 ppt	

<為替レート>		
	2005年度実績	2006年度実績
US\$	113.42円	116.86円
Euro	137.77円	148.99円



損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度		主要項目
		実績	増減	
営業外収支	5	4	▲ 1	
営業外収益	10	11	1	[06/3] 受取利息・配当金 (2億円) 為替差益 (1億円) 投資事業組合出資益 (1億円) その他雑収入 (3億円) [07/3] 受取利息・配当金 (4億円) 保険満期受取金 (1億円) その他雑収入 (5億円)
営業外支出	5	7	2	[06/3] のれん償却費 (3億円) [07/3] 支払利息 (1億円) のれん償却費 (3億円) 為替差損 (1億円)
経常利益	215	208	▲ 7	
特別損益	▲ 12	2	14	
特別利益	0	2	2	[07/3] 固定資産処分益 (2億円)
特別損失	12	0	▲ 12	[06/3] 減損損失 (固定資産評価損) (9億円) 退職特別加算金 (1億円)
税引前当期純利益	203	210	7	
法人税等	73	78	5	税率 [06/3] 36.0% [07/3] 37.5% 研究開発費税額控除額の減少他
当期純利益	130	131	1	

<為替レート>

	2005年度実績	2006年度実績
US\$	113.42円	116.86円
Euro	137.77円	148.99円



所在地別セグメント情報

【売上高】

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度	
		実績	増減額
日本	898	906	8
欧州	81	91	10
うち欧州	63	70	7
うち米国	17	21	4
その他 ※1	3	6	3
合計	983	1,004	21

【営業利益】

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度	
		実績	増減額
日本	226	217	▲ 9
欧州	9	9	0
うち欧州	0	0	0
うち米国	10	9	▲ 1
その他 ※1	▲ 7	▲ 7	0
消去	▲ 18	▲ 15	3
合計	209	204	▲ 5

※1 その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



貸借対照表

(単位：億円)

	2005年度		2006年度		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	938	62.4%	1,008	63.4%	70
固定資産	565	37.6%	582	36.6%	17
資産合計	1,504	100.0%	1,590	100.0%	86
流動負債	241	16.0%	223	14.0%	▲ 18
固定負債	77	5.1%	80	5.1%	3
負債合計	318	21.1%	304	19.1%	▲ 14
純資産合計	1,186	78.9%	1,286	80.9%	100
負債純資産合計	1,504	100.0%	1,590	100.0%	86

【主要変動科目】

- 流動資産：有価証券 +57億円、受取手形及び売掛金 +6億円、たな卸資産 +5億円
- 固定資産：〔増加要因〕投資有価証券 +33億円、設備投資+27億円（うち、建設仮勘定+15億円）
〔減少要因〕減価償却による減少 ▲32億円
投資その他の資産 その他 ▲11億円
- 流動負債：未払金 ▲7億円、未払法人税等 ▲10億円
- 固定負債：繰延税金負債 +4億円
- 純資産：〔増加要因〕当期純利益 +131億円、有価証券評価差額金 +12億円
〔減少要因〕配当金 ▲56億円



キャッシュフロー計算書 要約

(単位: 億円)

	2006年度 実績	主要項目
現金等 期首残高	461	
現金等 増減額	37	
営業活動によるキャッシュフロー	149	・税金等調整前当期純利益 210 ・減価償却費 47 ・売上債権の増加額 ▲4 ・仕入債務の増加額 4 ・法人税等の支払額 ▲89
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 58	・定期預金の預入による支出 ▲6 ・固定資産の取得による支出 ▲35 ・固定資産の売却による収入 6 ・投資有価証券の取得による支出 ▲22
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 56	・長期借入金の返済による支出 ▲1 ・配当金の支払額 ▲56
現金等に係る換算差額	3	
現金等 期末残高	498	

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2005年度 実績	2006年度	
		実績	対前期 増減額
設備投資額	14	27	13
減価償却費	33	32	▲ 1
リース料	11	10	▲ 1

◆2006年度 設備投資 主要項目

- ◆ 中国での工場建設投資
- ◆ 製造設備の増設・更新
- ◆ 研究開発用機器の更新



2007年度 通期連結業績予想



連結業績通期予想

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度		
		予想	増減額	増減率
売上高	1,004	1,040	36	3.5%
営業利益	204	205	1	0.4%
経常利益	208	212	4	1.7%
当期純利益	131	137	6	4.2%



販売部門別 売上高 / 海外売上高予想

●販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2007年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	828.1	2.6%	124.4	12.1%	952.6	3.7%
眼科薬	728.0	2.2%	122.3	12.5%	850.4	3.5%
抗リウマチ薬	97.5	5.9%	1.4	▲ 12.2%	99.0	5.6%
その他医薬品	2.6	▲ 0.3%	0.6	11.0%	3.2	1.6%
一般用医薬品	53.0	0.3%	0.1	▲ 8.1%	53.2	0.2%
医療機器	6.1	18.4%	0.5	159.3%	6.6	24.1%
その他	5.7	▲ 5.1%	21.7	▲ 0.6%	27.4	▲ 1.6%
合計	893.0	2.5%	146.9	10.2%	1,040.0	3.5%

●海外売上高

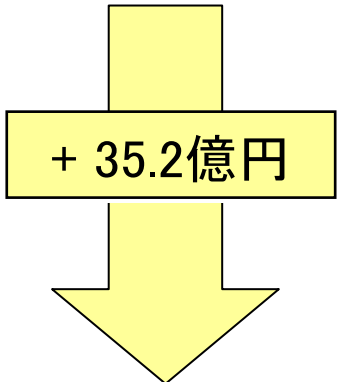
(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度		
		予想	増減額	増減率
欧州	69.1	78.3	9.2	13.3%
北米	21.2	25.6	4.4	20.5%
その他	42.8	42.8	0.0	0.0%
合計	133.3	146.9	13.6	10.2%



連結売上高:増減要因

2006年度
実績売上高
1,004.8億円



2007年度
予想売上高
1,040.0億円

国内 + 21.6億円

[増収要因]

- + 医療用眼科薬 +15.3億円
- + 抗リウマチ + 5.4億円
- + 医療機器 + 1.0億円
- + 一般用医薬品 + 0.1億円

[減収要因]

- + 受託製造他 ▲ 0.2億円

海外 +13.6億円

[増収要因]

- + 欧州 + 9.2億円
- + 北米 + 4.4億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 16.3億円
- + 角膜 + 22.3億円
- + 緑内障 ▲ 5.7億円
- + パピロックミニ + 7.5億円
- + オペガン + 5.2億円
- + その他 + 2.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 10.9億円
 - +うち、ロシア + 5.9億円
 - +うち、ドイツ + 1.9億円
 - +うち、ポーランド + 0.7億円
- + 受託製造 他 ▲ 1.7億円

北米

- + 医療用眼科薬 + 2.5億円
- + 受託製造 他 + 1.9億円



損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度		主な増減要因
		予想	増減	
売上高	1,004	1,040	36	
売上原価 (対売上高比率)	354 35.3%	365 35.1%	11 ▲ 0.2 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定費増加の影響 (+0.4ppt) ・ 操業度の上昇 (▲0.1ppt) ・ 品目構成の変化 (▲0.3ppt)
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	445 44.4%	470 45.2%	25 0.8 ppt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	309 30.8%	330 31.7%	21 0.9 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内 販売費増 (+12億円) ・ 欧州 販売費増 (+5億円) ・ アジア 販売費増 (+4億円)
研究開発費 (対売上高比率)	136 13.6%	140 13.5%	4 ▲ 0.1 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑内障関連費用 (▲1億円) ・ 角膜関連費用 (+1億円) ・ 網膜関連費用 (+3億円) ・ リウマチ関連費用 (+1億円)
営業利益 (対売上高比率)	204 20.3%	205 19.7%	1 ▲ 0.6 ppt	

<為替レート>		
	2006年度実績	2007年度予想
US\$	116.86円	115.00円
Euro	148.99円	150.00円



損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度		主要項目
		予想	増減	
営業外収支	4	7	3	
営業外収益	11	8	▲ 3	[07/3] 受取利息・配当金 (4億円) 保険満期受取金 (1億円) その他雑収入 (5億円) [08/3] 受取利息・配当金 (4億円) 保険満期受取金 (1億円) その他雑収入 (2億円)
営業外支出	7	1	▲ 6	[07/3] 支払利息 (1億円) のれん償却費 (3億円) 為替差損 (1億円)
経常利益	208	212	4	
特別損益	2	0	▲ 2	
特別利益	2	0	▲ 2	[07/3] 固定資産処分益 (2億円)
特別損失	0	0	0	
税引前当期純利益	210	212	2	
法人税等	78	75	▲ 3	税率 [07/3] 37.5% [08/3] 35.4% 子会社利益の増加 (損失の減少)
当期純利益	131	137	6	

<為替レート>

	2006年度実績	2007年度予想
US\$	116.86円	115.00円
Euro	148.99円	150.00円



所在地別セグメント情報

【売上高】

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		予想	増減額
日本	906	929	23
欧州	91	104	13
うち欧州	70	79	9
うち米国	21	24	3
その他 ※1	6	6	0
合計	1,004	1,040	36

【営業利益】

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		予想	増減額
日本	217	219	2
欧州	9	12	3
うち欧州	0	0	0
うち米国	9	12	3
その他 ※1	▲ 7	▲ 6	1
消去	▲ 15	▲ 20	▲ 5
合計	204	205	1

※1 その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



設備投資額／減価償却費／リース料

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	27	37	10
減価償却費	32	35	3
リース料	10	9	▲ 1

✦2007年度 設備投資 主要項目

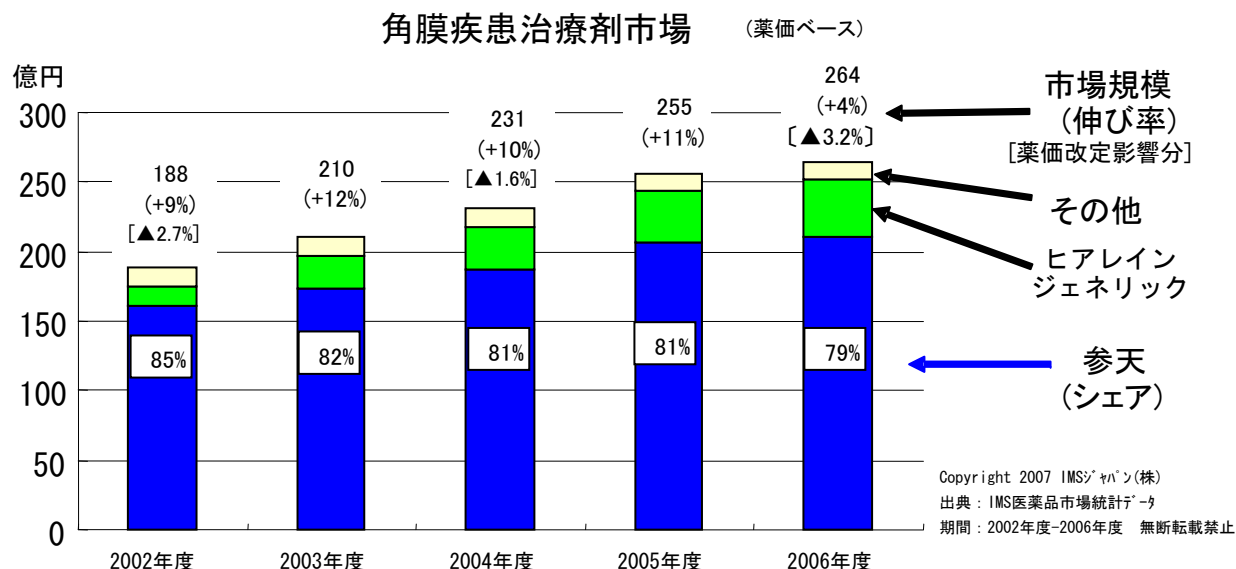
- ✦ 中国での工場建設投資
- ✦ 製造設備の更新
- ✦ 研究開発用機器の更新



【参考】



国内医療用眼科薬 -角膜疾患治療剤-



● 当社主力品売上高

(単位: 億円)

主要品目	2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
ヒアレイン	168	12.6 %	178	6.0 %	200	11.8 %

● 市場全体

(2006年度) 薬価改定の影響を受けるものの、患者数の増加により市場は拡大

(2007年度) 新ドライアイの定義・診断法の広まりなどもあり市場は拡大すると想定

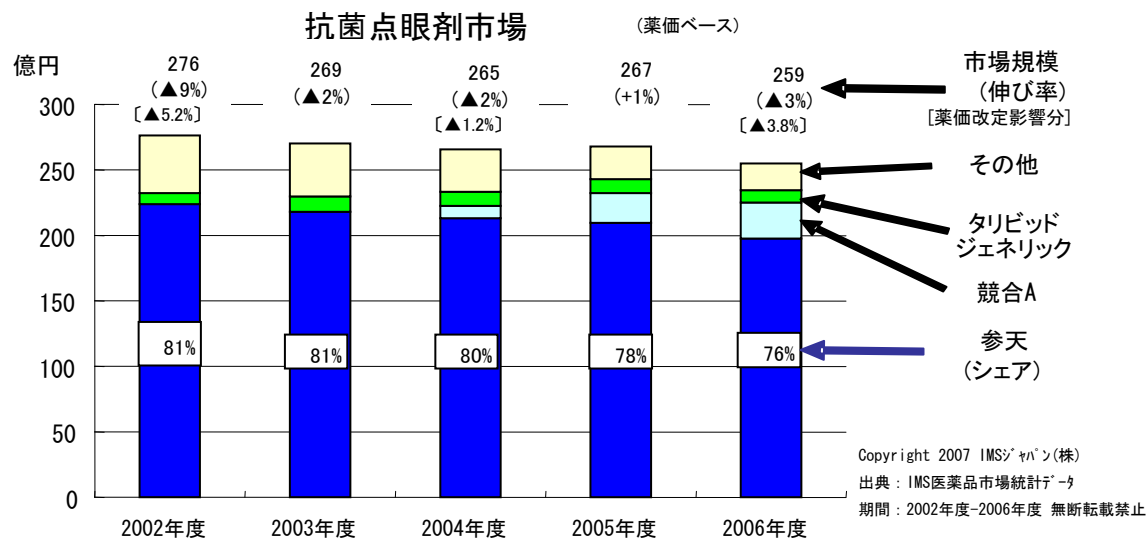
● 当社

(2006年度) QOLを高める製品特性と医療現場でのドライアイ啓発活動などにより
ヒアレインは前年を上回る

(2007年度) ドライアイの患者啓発活動を行うことにより、前年を上回る見込



国内医療用眼科薬 -抗菌-



● 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
クラビット	132	3.1%	131	▲0.5%	122	▲7.1%
タリビッド	41	▲7.4%	35	▲14.0%	28	▲19.1%
2剤合計	173	0.4%	166	▲3.7%	150	▲9.7%

● 市場全体

(2006年度) 薬価改定の影響により縮小

(2007年度) ほぼ前年並みと想定

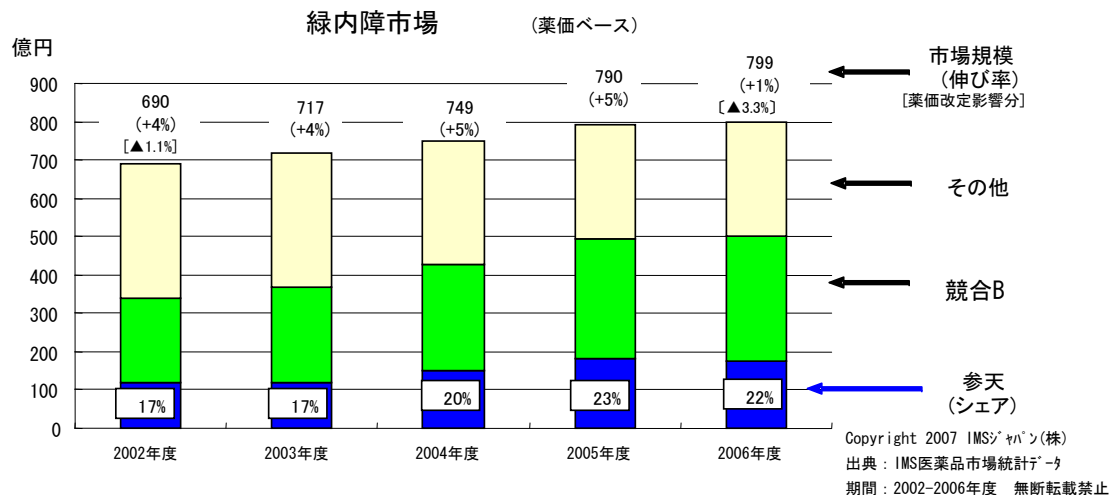
● 当社

(2006年度) 薬価改定と競合品の影響により前年を下回る

(2007年度) 一部競合品の影響が通年となるため、前年を下回る見込



国内医療用眼科薬 -緑内障-



● 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
レスキュラ	51	94.7 %	51	▲ 0.5 %	49	▲ 3.7 %
チモプトール	42	▲ 4.6 %	38	▲ 9.4 %	34	▲ 8.8 %
チモプトールXE	30	8.3 %	32	6.1 %	32	1.1 %
チモプトール類合計	72	0.4 %	70	▲ 2.9 %	67	▲ 4.3 %
デタントール	22	3.3 %	22	2.8 %	22	▲ 0.2 %
ピバレフリン	3	▲ 17.6 %	2	▲ 12.4 %	2	▲ 22.1 %
5剤(4剤)合計	149	20.4 %	147	▲ 1.4 %	142	▲ 3.8 %

● 市場全体

(2006年度) 高齢化の進展やNTG啓発活動により、薬価改定の影響があるものの拡大

(2007年度) 患者数の増加、NTGへの関心・認知の高まりにより市場は拡大すると想定

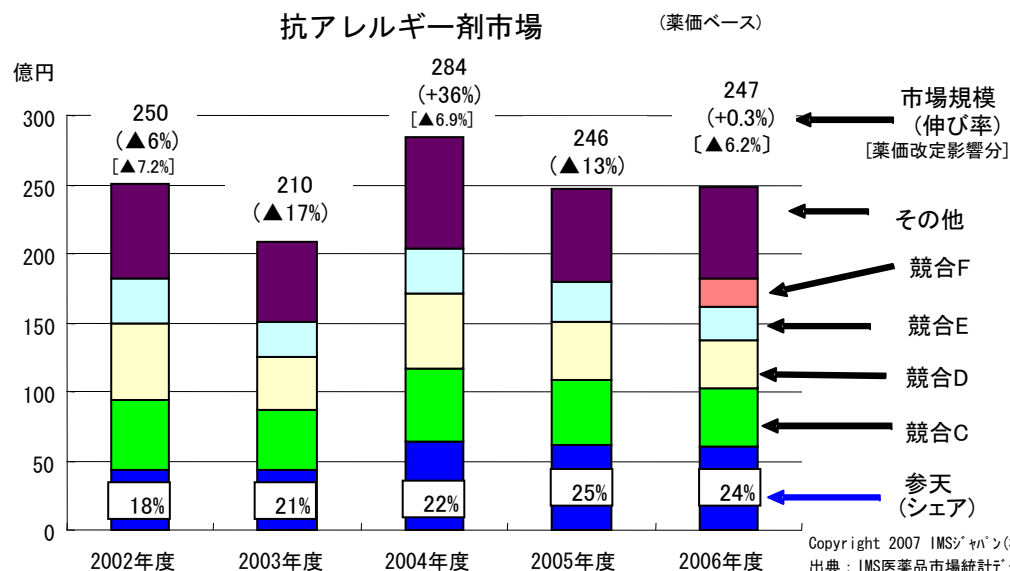
● 当社

(2006年度) 薬価改定の影響により前年を下回る

(2007年度) 競合新製品の上市を想定し、前年を下回る見込



国内医療用眼科薬 -アレルギー-



● 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
リボスチン	39	▲19.0%	43	8.0%	42	▲0.3%
アレギサール	7	▲21.5%	7	1.1%	7	▲5.6%
2剤合計	47	▲19.4%	50	7.0%	50	▲1.1%

● 市場全体

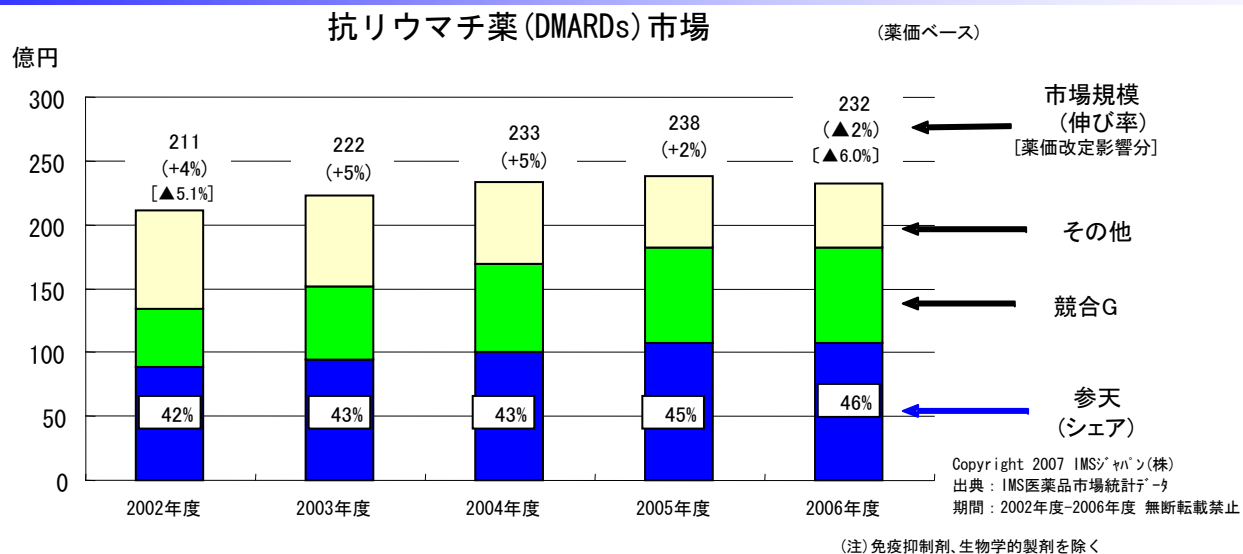
- (2006年度) 花粉飛散時期が早期化するものの、薬価改定の影響によりほぼ横ばい
- (2007年度) 7月の天候如何で左右されるものの、現時点ではほぼ横ばいを想定

● 当社

- (2006年度) 花粉飛散開始時期の早期化により前年を上回る
- (2007年度) 競合品の影響はあるものの、ほぼ前年並みを想定



国内医療用眼科薬 -リウマチ-



● 当社主力品売上高

(単位：億円)

主要品目	2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	対前期増減率	実績	対前期増減率	予想	対前期増減率
リマチル	50	3.1 %	49	▲2.4 %	49	1.5 %
アザルフィジンEN	37	10.1 %	38	4.6 %	41	6.8 %
2剤合計	87	6.0 %	88	0.6 %	91	3.8 %

● 市場全体

(2006年度) 薬価改定の影響により縮小

(2007年度) 患者数の増加や他社新製品の投入により市場は拡大する見込み

● 当社

(2006年度) 当社リウマチ薬の全てがリウマチ治療ガイドラインの「推奨度A」に選定され、リウマチ薬全体では前年を上回る

(2007年度) 市場の競争激化が予想されるものの、「推奨度A」の更なる浸透を目指す